

ケネディ駐日米国大使が長崎を初訪問



友好の木「ハナミズキ」を植樹



平和祈念像前で花輪を手向けました



平和な世界を目指したいと語りました

12月10日、キャロライン・ケネディ大使が長崎を訪問し、日米友好の象徴としてアメリカから長崎市に贈られたハナミズキの苗木を植樹しました。植樹式には、大使や田上市長、板坂市議会議員、山里小学校の児童など、およそ200人が出席。田上市長は「長崎とアメリカは核兵器のない世界を目指すという考えを共有しています。このハナミズキを日本とアメリカの友好の象徴にしたい」とあいさつしました。

また、大使は長崎原爆資料館を訪れ、熱心に見学。

その後、被爆者の土山秀夫元長崎大学学長、朝長万左男日本赤十字社長崎原爆病院院長、鈴木一郎長崎日米協会顧問と懇談しました。

大使は「非常に心を動かされました。ケネディ元大統領は、核軍縮のプロセスをはじめたことを誇りに思っていました。オバマ大統領も尽力しており、私もあらためてその思いを強くしました」と語りました。

■問い合わせ 国際課(☎829-1113)

平和推進課(☎844-9923)

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 入館者100万人を達成



花束と記念品などが贈呈されました

11月20日、入館者が100万人を超えた祈念館で、セレモニーを開催。100万人目となった東京都の小林さんは、「過去の悲惨な出来事を学び、子どもや孫に伝えていきたい」と語りました。

祈念館は、これからも被爆関連資料の収集・公開や国際交流を通して、原爆死没者の追悼および被爆体験の継承などに努め、平和を発信し続けていきます。

■問い合わせ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館(☎814-0055)

長崎がんばらんば国体・大会 市国体PRポスター決定



長崎らしさと躍動感があふれる作品が勢ぞろい!

今年開催される「長崎がんばらんば国体・大会」を、より一層盛り上げていくための広報啓発活動の一環として、市内の中学生・高校生を対象として実施した、市国体PRポスターコンクールの入賞者を表彰。

中学校の部・高等学校の部あわせて118点の応募があり、8点が入賞しました。各部門の最優秀作品は、市の公式ポスターデザインとして活用する予定です。

■問い合わせ 国体推進部総務企画課(☎829-1280)